

〈5〉「仕事」に関する考えについて（女性の無業者）

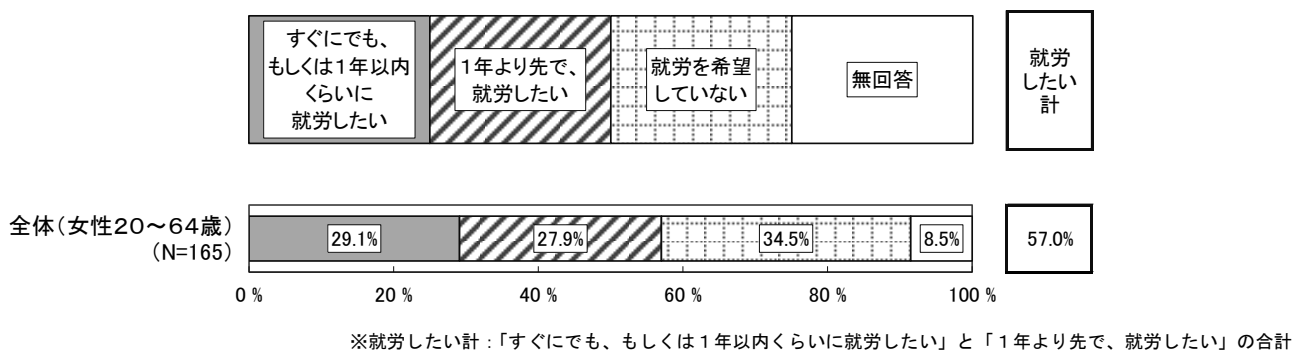
結果のポイント

- 20～64歳の女性の無業者のうち、今後就労を希望する女性は約6割
- 今後就労を希望する女性が望む雇用形態は「パート・アルバイト」が特に多く、職種の希望は「事務」、「サービス等」、「教育」の順
- 就労する上での不安の1位は、「自分の技術や知識のこと」、2位は「自分の体力、健康」（P29）
- 就労にあたっての希望の1位は「勤務時間が柔軟であること」、2位は「休暇が取りやすいこと」（P30）
- 今後就労を希望しない女性の理由で最も高いのは「夫や家族の収入で生活できるから」、2位は「家事・育児・介護などと両立する自信がないから」（P31）

① 今後の就労希望

現在働いていない女性のうち、今後就労を希望する女性（20～64歳）の割合（「すぐにも、もしくは1年以内くらいに就労したい」と「1年より先で、就労したい」の計）は57.0%となっている。

図表 今後の就労希望

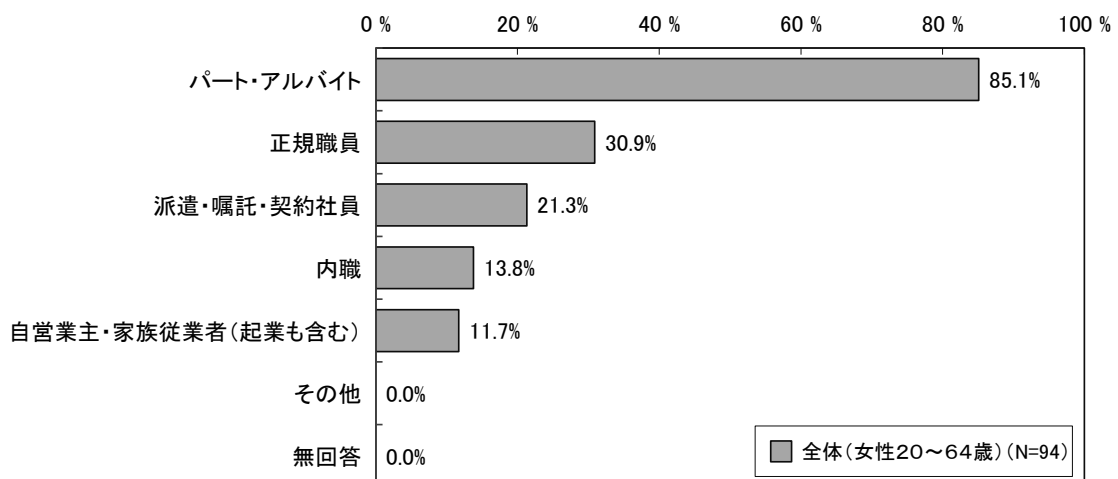


② 希望する雇用形態

今後就労を希望する女性（20～64歳）が希望する雇用形態は、「パート・アルバイト」の割合が最も高く85.1%で、次いで「正規職員」（30.9%）、「派遣・嘱託・契約社員」（21.3%）となっている。

図表 希望する雇用形態（複数回答）

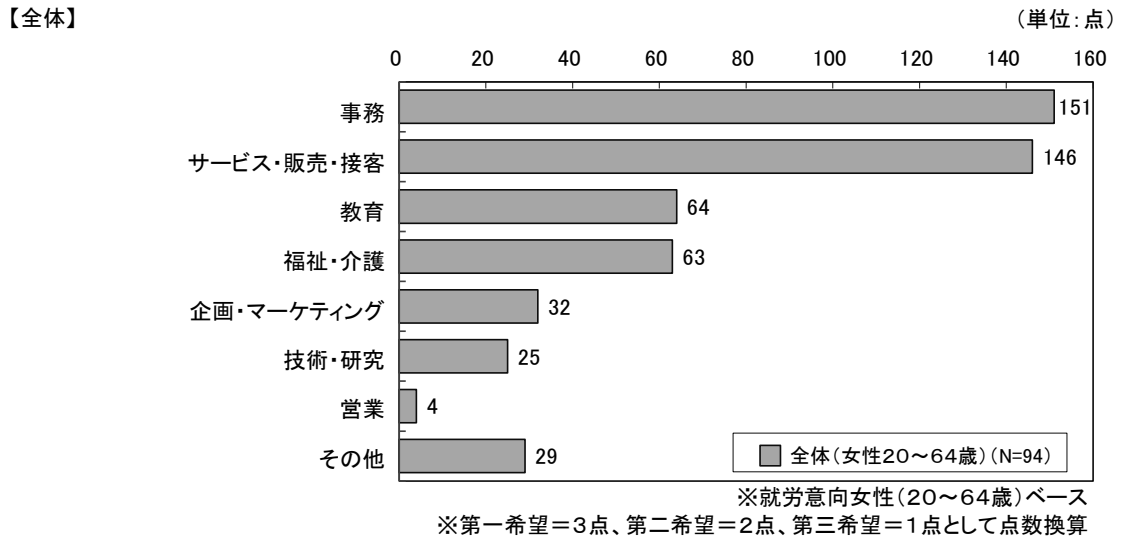
【全体】



③ 希望する職種

今後就労を希望する女性（20～64歳）が希望する職種は、「事務」が最も多く、次いで「サービス・販売・接客」「教育」となっている。

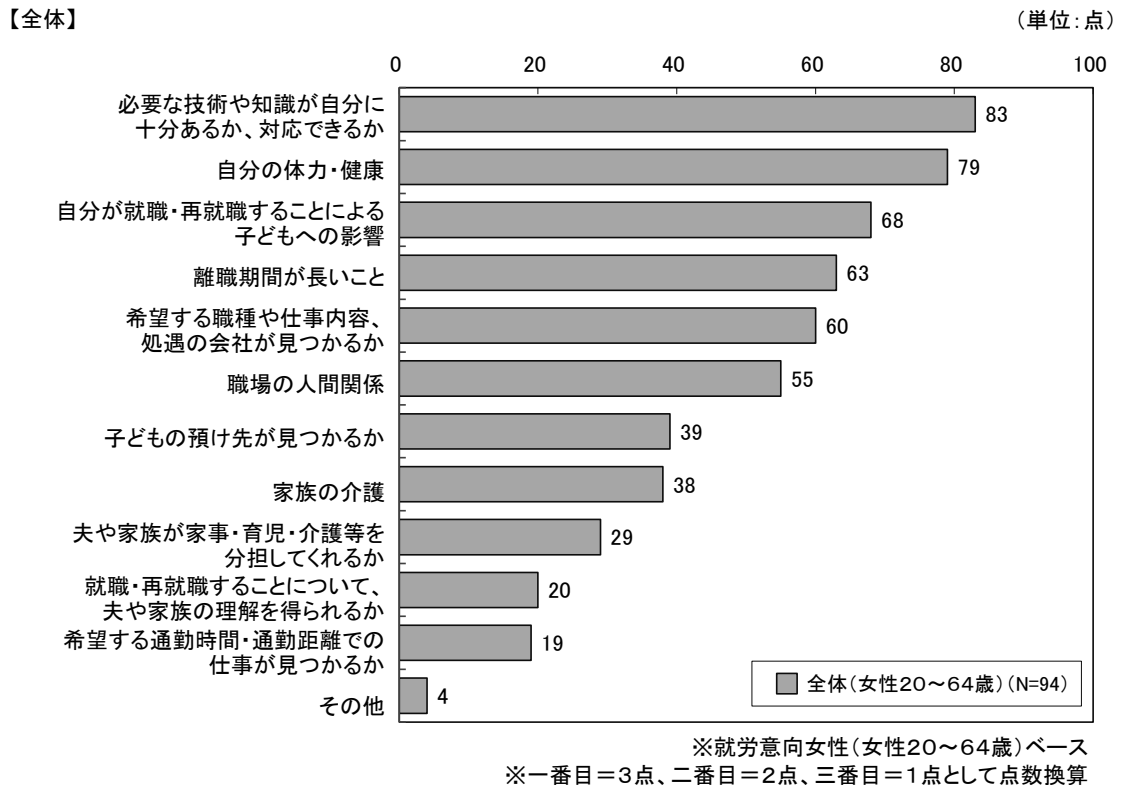
図表 希望する職種（あてはまるものを3つ選択）



④ 就労する上での不安

今後就労を希望する女性（20～64歳）の就労にあたっての不安点は、「必要な技術や知識が自分に十分あるか、対応できるか」が最も多く、次いで「自分の体力・健康」、「自分が就職・再就職することによる子どもへの影響」となっている。

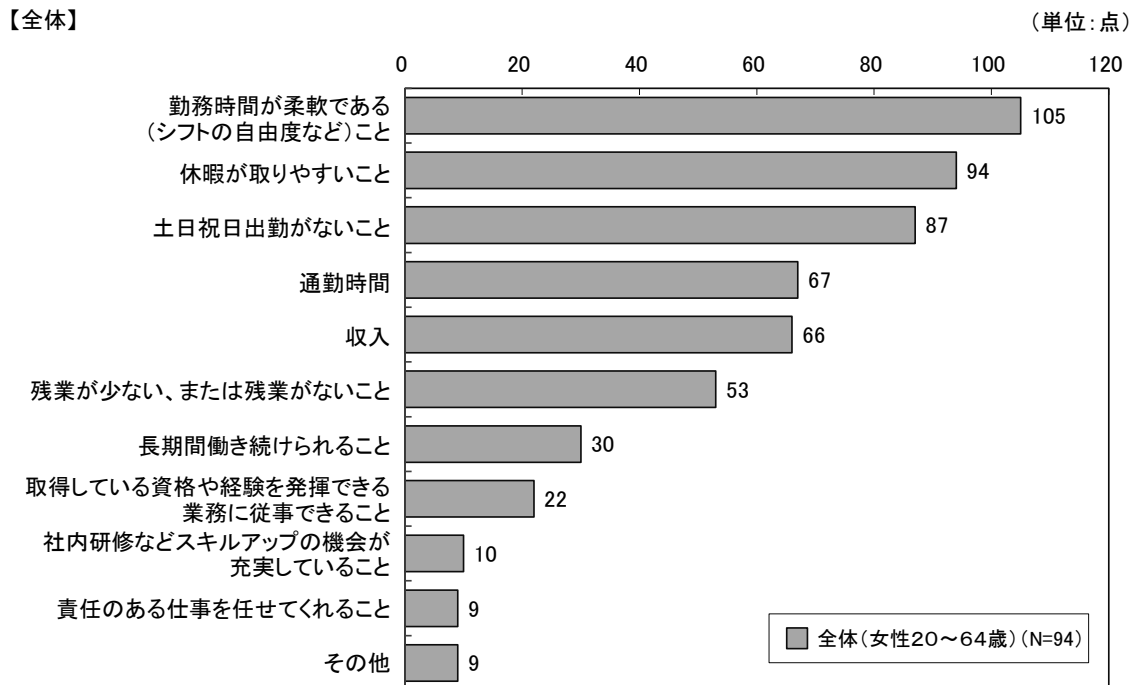
図表 就労する上での不安（あてはまるものを3つ選択）



⑤ 就労にあたって重視すること

今後就労を希望する女性（20～64歳）が就労にあたって重視することは、「勤務時間が柔軟である（シフトの自由度など）こと」が最も多く、次いで「休暇が取りやすいこと」、「土日祝日出勤がないこと」となっている。

図表 就労にあたって重視すること（あてはまるものを3つ選択）

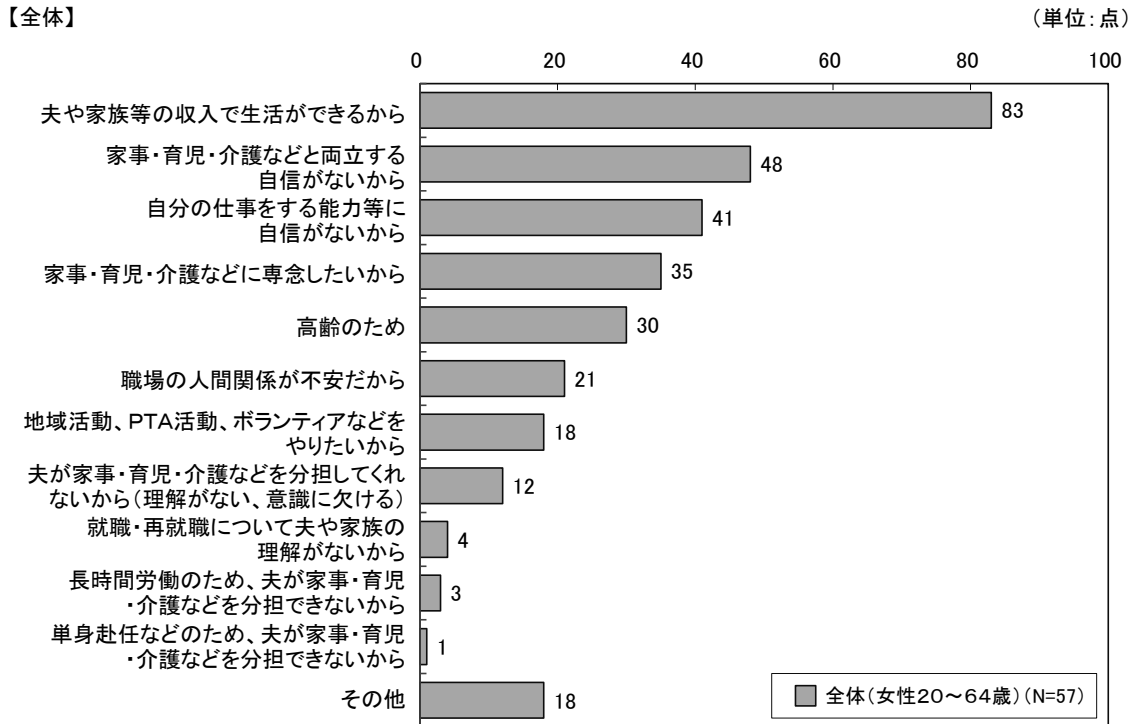


※就労意向女性(女性20～64歳)ベース
※一番目=3点、二番目=2点、三番目=1点として点数換算

⑥ 就労を希望しない理由

今後就労を希望しない女性（20～64歳）の就労を希望しない理由は、「夫や家族等の収入で生活ができるから」が最も多く、次いで「家事・育児・介護などと両立する自信がないから」、「自分の仕事をする能力等に自信がないから」となっている。

図表 就労を希望しない理由（あてはまる理由を3つ選択）



※非就労意向女性ベース

※最大の理由=3点、二番目の理由=2点、三番目の理由=1点として点数換算